

水道料金を

引き上げます

肝付町水道事業は、水道料金収入を主たる財源として経営を行っています。肝付町の水道施設は10か所の浄水施設と総延長約214kmの管路網があり、古いものは40年を超え老朽化が進んでいることから、水道施設を更新する必要があります。また、地震等の災害時においても、ライフラインとして機能を確保するため、水道施設の耐震化を進めていく必要があります。

そのような中、人口減少に伴い、水道料金収入は年々減少していく見込みです。



平成17年度の町合併を経て平成20年度に料金体系を統合して以降、消費税率改定による料金改定は行いましたが基準的な料金は据え置いてきました。これからは、施設の維持、耐震化を進め、将来においても持続的に、安心・安全な水を安定的に供給していくため、水道料金の改定を行います。ご理解とご協力をお願いいたします。



建設改良費等



給水人口（10年後）
約 11,000 人



建設改良費等



給水人口（現在）
約 13,000 人

料金改定が必要な理由

- 給水人口減少による水道料金収入の減少
- 老朽化した施設の更新、耐震化のための建設改良費は継続して必要である
- 近年の物価高騰などにより給水原価が供給単価を上回る状況にある^{※1}
- 現在の水道料金で運営を維持した場合、10年後には工事等に必要なた積立金がなくなる
- 計画的な建設改良事業ができなくなる
- 将来にわたって水道水を安定して供給するため

